



恒心会 おぐら病院

KOHSHINKAI OGURA HOSPITAL



恒心会は恒に信頼される質の高い医療・介護を提供し、地域社会に貢献することを理念に掲げています。一人ひとりがチーム医療の担い手として、患者さんと真摯に向き合う全人的医療を実践し、医療・保健・福祉に貢献する病院づくりを目指しています。

医療分野では2次救急を担う外科・整形外科、神経内科を柱とした急性期一般病床116床と100床の回復リハビリテーション病棟を備えています。また、介護分野では老人保健施設や在宅にいたるまで生活期リハビリテーションを提供し、複合型施設として地域にシームレスなサービスを提供しています。

出発は昭和32年に診療所・小倉外科として開院しました。そして、病院となり、平成2年に医療法人格を取得しました。

平成25年7月1日には小倉記念病院とおぐらリハビリテーション病院が統合し「恒心会おぐら病院」が誕生しました。平成28年4月には「社会医療法人 恒心会」に認定されました。

この間、鹿児島大学病院卒後臨床研修プログラム「桜島」の研修協力病院登録を始めとし、南大隅町立佐多診療所と郡診療所でへき地診療開始し、鹿児島県の「へき地医療拠点病院」に指定されました。

また、外科的な分野では、より踏み込んだ治療をするために鹿児島県から「がん診療指定病院」として指定を受けました。

これもひとえに、長年にわたり当法人をご支援いただきました地域の皆さま、医療関係者の皆さま方のお蔭と深く感謝しております。

これからも、10年先を見据えて病院力を高める努力し、介護分野ではサービスの質の向上を図り、地域住民の方に頼れる様な存在となって地域医療に貢献して行きたいと思っております。

社会医療法人 恒心会
理事長 小 倉 雅

人と地域のきずなと共に。



概要 Outline

| | | |
|-----|-----------------|-----|
| 2F東 | 回復期 | 50床 |
| 3F東 | 回復期 | 50床 |
| 3F西 | 外科 | 42床 |
| 4F | 整形外科 | 38床 |
| 5F | 内科、脳神経内科、整形外科混合 | 36床 |

◎鹿児島大学病院協力型 臨床研修病院

◎日本医療機能評価機構認定



日本医療機能評価機構

沿革 History

- 昭和32年 1月 鹿屋市向江町において、初代院長 小倉慶一が外科医院9床で開院
- 昭和53年 4月 鹿屋市寿8丁目21番2号へ新築移転
- 昭和63年 7月 病床数100床へ増床
基準看護特二類、運動療法の施設基準認可
- 平成2年 1月 医療法人へ改組、理事長に小倉雅就任
- 平成6年 10月 介護老人保健施設 ヴィラかのや 開設
- 平成11年11月 おぐらリハビリテーション病院 開設(100床)
- 平成19年 7月 おぐらリハビリテーション病院
回復期リハビリテーション病棟100床へ増床
- 平成25年 7月 小倉記念病院(126床)とおぐらリハビリテーション病院(100床)を統合し、新たに恒心会
おぐら病院(216床)として開院
- 平成28年 4月 社会医療法人に組織変更

資格認定 Qualification

◎整形外科

- 日本整形外科学会専門医
- 日本整形外科学会認定リウマチ医
- 日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
- 日本整形外科学会認定スポーツ医
- 日本リウマチ財団登録医
- 日本医師会健康スポーツ医
- 日本体育協会スポーツ医
- 日本整形外科学会認定施設

◎外科

- 日本外科学会専門医・指導医
- 日本大腸肛門病学会専門医・指導医
- 日本消化器内視鏡学会専門医
- 日本消化器外科学会認定医
- 日本乳癌学会認定医
- 日本外科学会専門医修練関連施設

◎脳神経内科

- 日本神経学会神経内科専門医
- 日本神経学会神経内科指導医
- 日本内科学会内科認定医
- 日本神経学会専門医制度准教育施設

◎リハビリテーション科

- 日本リハビリテーション医学会認定専門医
- 日本リハビリテーション医学会研修施設

◎形成外科、婦人科、麻酔科 その他

- 日本形成外科学会専門医
- 日本創傷外科学会専門医
- 皮膚腫瘍外科指導専門医
- 日本熱傷学会専門医
- 日本レーザー医学会認定医2種
- 日本産婦人科学会専門医
- 日本麻酔科学会認定医



救急体制

Emergency Care

24時間、断らない 救急体制を目指す。

当院では、多数の救急車を受け入れ、鹿児島県の救急業務高度化委員会より受け入れ病院として指定、ドクターヘリの1ターン・1ターン受け入れ病院にも指定されています。

救急受け入れに際しては、“まず受け入れる”をモットーに、入院を伴わない患者さんに初診を提供する1次救急から入院や手術を必要とする2次救急に対応。外科医と麻酔科医が連携を図り、恒に最善の医療を提供しています。

また、近隣の病院との緊密な連携により、質の高い地域完結型の医療を目指す一方、3次救急を担う高度救命センターとの連携により、24時間体制で地域のいのちを守る救急医療に力を注いでいます。



看護体制

Hospitality

家族のような安心感と 専門性に基づくケアを提供。

恒心会では、医療・福祉の多岐にわたる分野において、看護師のニーズが多くあります。急性期医療施設のカラーがあるおぐら病院では、専門職としての誇りを胸に、患者さんの気持ちに寄り添い、思いやりのある安全で安心な看護の提供に努めています。

手術直後の患者さんや重篤な状況の方には、ナースステーション直通の病室を設けるなど、個々の対象にあったQOLを高める継続的な看護を実践しています。

また、日進月歩の医療に対応できるよう定期的な研修会を行うほか、看護分野における地域リーダーの育成を目指し、認定看護師資格取得の支援にも取り組んでいます。



整形外科

Orthopedics

あらゆる運動器疾患に対応

整形外科は、骨、関節、靭帯、腱、神経、筋肉など人が快適な生活を送るのに必要な“運動器”を扱う分野で、小児から高齢者まで男女ともにすべての年代が対象です。

具体的な症状としては、ぶつけたり、ひねったりした、骨折、脱臼、捻挫、突き指などの外傷から、首や腰、スジの痛み、肩こり、膝などの関節痛、手足のしびれ・腫れ、関節や背中の変形などがあります。

当院では、外傷をはじめ、すべての運動器疾患に対応できる専門性の高い医師が診療しています。四肢・躯幹の外傷、小児整形外科疾患、脊椎脊髄疾患、四肢関節の変性疾患、骨・軟部腫瘍、スポーツ外傷などを対象とし、豊富な経験をもとに実績をあげています。

また、単に手術療法のみを用いるのではなく、各種保存療法にも取り組み、特にリハビリテーションセンターとは密接な連携を取りつつ診療をすすめています。



4室のクリーンルームを完備した手術室

当院の手術室は、広いスペースで機能的に設計されており、4室すべてが厳しい基準をクリアしたクリーンルームになっています。うち2つは、腹腔鏡専用と関節鏡専用のシーリングペンダント付きの手術室です。

豊富な手術経験

●人工関節置換術

病巣部の骨・関節を除去、人工関節に置き換える：股関節、膝関節、足関節など

●内視鏡下手術

最小侵襲で脊髄や関節内の手術を行う

●膝関節

靭帯再建、半月板縫合、切除など

●肩関節

腱板修復、関節唇縫合など

●肘関節

骨棘切除、授動術、遊離体除去など

●手の外科

腱断裂、移行術など

●骨関節温存術

矯正骨切り術

手術に際しては、ある程度の出血が予想される場合、副作用や感染症などのリスクの低い「自己血輸血」に取り組んでいます。これは手術前にご自身の血液を貯血しておくことで、他家血使用を極力減らすものです。また、術後のリハビリも充実したスタッフで専門的に行います。



外科

Surgical Department

24時間対応できる「全身外科」

「全身外科」を合言葉に、診察・診断から検査・手術にいたるまで、幅広く担当しています。基本的には消化器外科が中心ですが、内視鏡などの検査も担当し、胃・十二指腸潰瘍や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患等の内科疾患加療も行っております。外傷や消化管出血などの救急（夜間・時間外も含む）に備えた外科医待機体制もあり、24時間対応できる体制を敷いています。



幅広い手術、癌治療、緩和ケアに対応

手術は、胃、大腸（結腸・直腸）、肝臓、胆嚢、膵臓などの癌から、腸閉塞、ヘルニア（鼠径・大腿・臍など）、痔核、痔ろうなどの一般外科まで対応しており、腹腔鏡などの内視鏡下手術、大腸・胃ポリープなどの内視鏡的切除なども手掛けています。また、手術後の細かなフォローアップや抗癌剤治療から、癌による痛みをやわらげるための緩和ケアにも対応し、特殊な検査・手術が必要で当院での対応が困難なケースに関しては、信頼のおける高次機能病院への紹介を行っております。もちろん、セカンドオピニオンのご相談も受け付けています。



「完璧なるセットアップ」を目指して

外科は幅広い分野に関わっており、野球で例えるならば「完璧なるセットアップ」と表現できると考えます。1次救急といわれるプライマリーケアは、最初に治療を受け持つ先発要員と表現できます。2次・3次救急は重傷を引き受ける高次機能病院ということで、中継ぎ、ストッパーと表現することができます。セットアップとは中継ぎのことですが、先発、ストッパーもこなせるのが「完璧なるセットアップ」です。当院外科は、1次救急はもちろん、2次救急も担える「完璧なるセットアップ」を目標に診療を行っています。



▲化学療法の説明をする認定看護師



リハビリテーション科

Rehabilitation Department

県下最大規模の専門病床

当院は県下最大規模のリハビリテーションの専門病床を有し、患者さんの「日常生活動作（ADL）の向上」と「在宅復帰」を目標に、特に回復期のリハビリに力を入れています。リハビリ室でトレーニングをすることだけがリハビリではなく、患者さんにご家族に自宅で生活ができるという自信を持っていただくことが重要だと考え、患者さんの日常生活に近い環境を病棟内で作り、自然な形で日常生活動作（ADL）を取り入れたリハビリを実践しています。



患者さん中心のリハビリチーム

入院患者さんの1日も早い回復を目指し、さまざまな資格を有する専門スタッフが、患者さんを中心としたリハビリチームを構成しています。当院では、担当スタッフが最新の知識と技術をもって、一人ひとりの患者さんに適した訓練を行います。また、リハビリ専門病床として長年培ってきたノウハウを生かして、機能回復にこだわった特色ある治療プログラムを取り入れています。



特色ある治療プログラム

●促通反復療法（川平法）

脳卒中後の片麻痺回復のためのリハビリ。麻痺した手や足を操作することで、必要な神経回路にピンポイントで刺激を伝え、自発的に動かせるように誘導します。根気よく繰り返し行っていくことで必要な神経回路を再建・強化し、麻痺の回復を促進させるリハビリです。

●歩行リハビリ

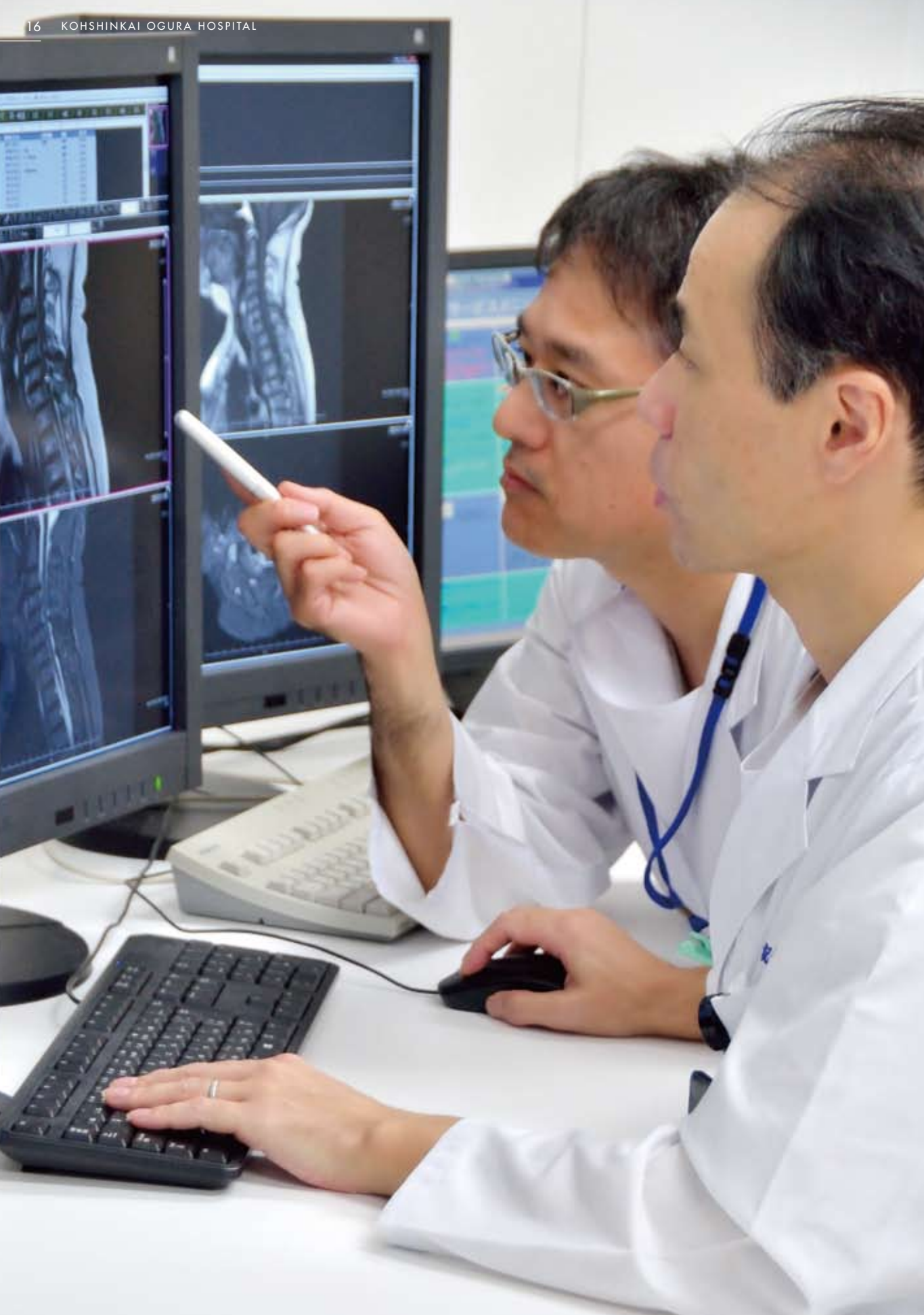
一般的な歩行訓練はもちろん、多くの介助が必要な方には吊り下げレッドミルやさまざまな種類の下肢装具を使用、患者さんがご自分の足で立って歩くことにこだわったリハビリを行っています。

●脳活性リハビリ

脳卒中や認知症などで記憶力、判断力が低下された方に対して、臨床心理士を中心に脳活性を目的とした音楽療法などのリハビリを行っています。

●摂食・嚥下リハビリ

脳卒中などで自分の口から食べることが困難な方に対し、専門的観点から検査・評価し、治療や摂食訓練などを行います。



内科

Internal Medicine

◎脳神経内科

脳・脊髄・末梢神経・筋肉の病気を診療

脳神経内科が担当する病気はどのようなものであるのか、一般的にはあまり知られていません。精神科、心療内科、神経科と混同されることが多いようですが、脳神経内科は脳や脊髄、末梢神経、筋肉に異常があり、身体が不自由になる病気に対応します。

当院では、主にパーキンソン病、アルツハイマー病、てんかんなどの診断・治療を行っています。うつ病や不安など気分の変化や統合失調症などの疾患は精神科を、精神的ストレスが原因で身体に異常をきたすような場合は心療内科をそれぞれ受診してください。

脳神経内科で扱う主な疾患

●パーキンソン病

運動に関わる脳神経細胞の変成(変化、消失)が原因で、動作が鈍くなる、手足が震える、身体のバランスが安定しないなどの症状があります。

●アルツハイマー病

記憶、思考、行動に問題を起こす脳の病気で、物忘れから徐々に記憶障害の程度が強くなり、日常生活に支障をきたすようになります。

●てんかん

脳の神経細胞の異常な活動により、急に意識を失い、倒れることがあります。

●脳活性リハビリ

脳卒中や認知症などで記憶力、判断力が低下された方に対して、臨床心理士を中心に脳活性を目的とした音楽療法などのリハビリを行っています。

◎内科外来[非常勤]

●循環器内科

主に胸痛、息切れ、むくみ、動悸、失神などの症状をとまなう病気を診療しています。狭心症や心筋梗塞、心筋症、生まれつき心臓に異常のある先天性心疾患、心臓の動きが悪くなって生じる心不全、不整脈や高血圧や低血圧、自律神経の調節異常による失神、肺動脈に血栓がつまる肺塞栓症や肺の動脈の血圧が高くなる肺高血圧、足に行く血管が動脈硬化で狭くなり歩くと足が痛くなる閉塞性動脈硬化症や大動脈瘤などの動脈疾患に対する診療を行っています。

●肝臓内科

肝臓内科は肝臓、胆道、膵臓の疾患を診療しています。学会認定の専門医資格を持つ経験豊富な医師またはその医師の指導下に全ての診療が行われ、質の高い医療を提供できるよう心がけております。必要に応じて放射線科や消化器外科と緊密な連携を取りながら診断および治療を行います。

●呼吸器内科

近年増加傾向にある肺炎などの肺感染症、気管支喘息などのアレルギー免疫疾患、慢性閉塞性肺疾患などの慢性呼吸不全、肺線維症・過敏性肺炎などの間質性肺炎、肺高血圧症などの肺循環障害を来す疾患、睡眠時無呼吸症候群、肺がんなど、幅広く呼吸器に関する病気の診断と治療を行っています。

●血液膠原病

血液内科とリウマチ・膠原病内科の診療を行っています。血液内科は急性および慢性白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫等の造血器悪性腫瘍を中心として、すべての血液疾患を診療しています。リウマチ・膠原病内科は、関節リウマチ・全身性エリテマトーデス・混合性結合組織病・強皮症・シェーグレン症候群・血管炎症候群、その他の膠原病類縁疾患などを幅広く診療しています。



筋電図検査 Neuropack X1

筋電図検査は、神経の障害部位や程度を評価する検査です。たとえば、手にしびれが生じた場合に、手首の問題(手根管症候群)や、肘の問題(肘部管症候群)を同定して、手術の適応や治療効果まで評価することができます。さらに、脊椎手術の全身麻酔中でも運動機能の客観的評価が可能となりました。これにより手術中の早期に運動機能への影響を発見し、非可逆的な障害を防げる可能性があります。

その他診療科

◎婦人科

女性特有のがん検診に取り組む

婦人科では、主にがん検診(要予約)を行っています。婦人科検診は、乳房や子宮、卵巣の病気などをできるだけ早く発見し、治療法を見つける大切なものです。検診にあたっては十分な説明を心掛けておりますので、不安や疑問はお気軽にご相談ください。精密検査や手術が必要な方には、公立病院への紹介も行っています。



◎麻酔科

手術室の安心・安全を支える

麻酔科は主に手術中の全身麻酔を担当しています。局所麻酔、伝達麻酔で始まった手術の途中で全身麻酔が必要になった場合も担当しますし、鎮静の希望があった時には患者さんに付き添います。「全身麻酔は怖い」という方にも手術前に十分な説明を心掛け、患者さんにしっかりした心構えを持っていただくことで、手術室での安心・安全を保つことを最優先に考えています。

◎形成外科

一般的手術からフットケアにも対応

形成外科は、ケガ・やけど・床ずれなどの傷、がんの手術などで失った組織や機能の再建、皮膚の病気で切除が必要なもの、身体の先天的奇形の修正など、主に身体の表面や形を治療する診療科です。大隅では希少な診療科であり、他の医療機関からの紹介も多く受け入れています。当院の形成外科では、床ずれやイボ・ホクロなどの一般的手術をはじめ、足の巻き爪(ワイヤー治療)などフットケアにも対応しています。

◎放射線科

全ての病気の診断・治療の判断材料

医療機器の性能が進歩を続ける中、当院では高性能なCT、MRI等の撮影装置を導入しています。撮影された画像は完全デジタル化(フィルムレス運用)により、撮影後すぐに院内ネットワークを介し、各科で高画質な画像を見ることができ、診療の効率化に繋がっています。



健康診断

船舶が航海ごとにドック入りして点検を行うように、私たちの身体にも定期的な検査が必要です。当院では、人間ドック、生活習慣病健診、一般健康診断、婦人科検診、予防接種などに取り組み、地域の健康をサポートしています。



■人間ドック 日帰りコース(予約制)

- ・身体測定
- ・胃カメラ
- ・血圧
- ・超音波検査
- ・視力検査
- ・尿検査
- ・聴力検査
- ・便検査
- ・心電図
- ・血液検査
- ・胸部CT

■生活習慣病健診(予約制)

- ・身体測定
- ・胸部レントゲン
- ・血圧
- ・胃カメラ
- ・視力検査
- ・尿検査
- ・聴力検査
- ・便検査
- ・心電図
- ・血液検査

■一般健康診断(予約制)

- ・身体測定
- ・胸部レントゲン
- ・血圧
- ・尿検査
- ・視力検査
- ・血液検査
- ・聴力検査
- ・心電図

■婦人科検診(予約制)

- ・乳がん検診
- ・子宮がん検診

■健診・検診オプション(予約制)

- ・大腸カメラ
- ・眼底検査[両眼]
- ・呼吸機能検査
- ・骨密度測定

ご予約・お問い合わせ(当日予約不可)

Tel.0994-44-7171

毎週月～金曜
午前9:30～午後5:00(祝祭日・年末年始のぞく)

最新機器

最新の医療機器を速やかに導入することにより、患者さんの不安をやわらげ、迅速な診断、快適な治療を提供できることを目指しています。



MRI室

1.5T Open Bore MRI Vantage Tian™

患者さんがMRI検査をためらう理由のひとつに閉所による不安がありますが、当院が導入したMRIは71cmもの大きな開口径が特徴です。閉塞感や不安を出来る限りやわらげ、大柄な患者さんにも安心して検査を受けていただける環境を提供します。また、最新の非侵襲テクノロジーで、造影剤を使わず、血管や脳脊髄液の形態を可視化します。静音化機構による静かな検査環境も安心です。



CT室

64列マルチスライスCT Aquilion™ CXL Edition

患者さんにやさしい寝台設計と72cmの開口径で窮屈感をやわらげた64列マルチスライスCT。180cmもの撮影範囲で、向きを変えることなく全身を撮影できます。高速撮影で、検査による拘束時間や息を止める時間を短縮し、低被爆でありながら高画質で、診断から治療効果の観察、フォローアップまで、さまざまなニーズに対応しています。



乳房撮影[マンモグラフィ]室

乳房のエックス線撮影のことを、マンモグラフィといいます。乳房は柔らかい組織でできているため、専用のエックス線撮影装置を使用します。マンモグラフィは、乳がんをはじめ乳房にできる病気をほとんど見つけることができます。特に、しこりとして触れない早期の乳がんのサインである石灰化を鮮明に写し出せるのが大きな特徴です。当院では、女性スタッフが対応し、女性患者さんが抱く不安や緊張を少しでも軽減できるように取り組むなど、安全かつ安心な検査を行っております。



BMD[骨密度測定]室

骨密度測定とは、骨の中にあるカルシウム、マグネシウムなどのミネラル成分がどのくらい量があるのかを計測するものです。当院の骨密度測定は、精度の高いX線を用いたDEXA法を採用したGE横河社製のPRODIGYを使用しています。測定時間は、腰椎、股関節の測定で、約3分と簡単なものとなっています。また、測定値は、専用のコンピュータに入力されている年齢に応じた正常値と比較して、骨密度がどのくらい減少しているかを判定します。これらの測定、解析作業をすべて含めて、約15分程度ですみますので、その日のうちに結果を出せます。



透視室

透視室には、最新の多目的デジタルX線システムが設置されており、高精細で大視野のFPDをそなえ、消化管検査、血管造影、整形領域の検査撮影と幅広いニーズに対応しています。また、低線量撮影やあらゆる入室状態に対応する昇降寝台、安心起倒モードと患者さんにやさしい装置となっており、術者も思いのままに視点をコントロールできスムーズで的確な検査を支援します。



薬剤科

●ハザード室(クラス10,000)

抗がん薬調剤をする部屋で、安全キャビネット(クラスⅡタイプB2)を設置しております。キャビネット内は陰圧状態になっており、内部の汚染空気が調製者側に流れ出るのを防ぎ、調製者を被爆から守ります。また、HEPAフィルタを通して排気されるため、外部環境への汚染の流出を最大限にとどめます。

●無菌調剤室(クラス10,000)

高カロリー輸液などを無菌的に調製する部屋で、クリーンベンチ(水平式)を設置しております。クリーンベンチは、HEPAフィルターで濾過した空気をベンチ内に吹き出し、作業空間を陽圧に保つことで高い清浄度を確保しています。

専門職スタッフ

医師、看護師と各種専門職スタッフが連携し、質の高いチーム医療に取り組んでいます。



理学療法士

病気やケガによって受けた障害や失われた機能のうち、特に足の麻痺や筋力低下の回復のための専門的なリハビリを担当しています。また、起居・立位・歩行などの主に日常生活上の移動面を中心に訓練を行い、生活全般の活性化を支援します。



作業療法士

手の麻痺のための専門的なリハビリを担当します。病気やケガなどで日常生活の動作が障害されている方に対し、食事・更衣・整容など、身の回りの動作の訓練を行います。さらに、高度な脳の働きが障害された高次脳機能障害に対してのリハビリも担当しています。



介護福祉士

リハビリテーションは、訓練室の中だけではなく、毎日の生活の中で繰り返し行われることが重要です。食事・排泄・入浴・整容・更衣などの介助を通して、病気やケガで日常生活の動作が障害されている患者さんや高齢者の方の機能回復の援助を行います。



歯科衛生士

口の中の清掃、義歯の使い方の指導、歯石を取り除くなど、虫歯や歯周病にならないための予防処置・指導を行います。口腔内を清潔に保つことは、嚥下機能の低下による肺炎の予防にも効果があります。歯科治療が必要な方には歯科医師への受診を勧めます。



言語聴覚士

言語機能が障害された結果、聞く・話す・読む・書くことが困難な方に対して、症状を改善するための訓練や円滑なコミュニケーションを図るためのリハビリを担当します。また、口や喉の動きの障害で、食事が難しくなった嚥下障害のリハビリも行います。



臨床心理士

「こころの問題」が原因で、身体の異常や生活上の問題を引き起こした方々を、心理学的な方法を用いてサポートする専門職です。当院では発達障害の小児の療育にも取り組んでいます。



管理栄養士

一般治療食や特別治療食など、患者さんの症状や身体状況に応じた栄養管理・指導を行います。毎月1～3回の行事食を実施し、季節を楽しんでいただけるよう努めています。また、摂食嚥下障害のある方には症状に合わせた献立や調理法で提供しています。



社会福祉士

社会福祉士は、専門的知識と技術をもって、福祉に関する相談に応じ、関係者や関係機関と連携および調整を行う国家資格です。当院では、社会福祉士が外来および入院中の患者さんやご家族のさまざまなご相談に応じ、問題の解決に向けて支援します。

福利厚生

職員のみなさんが仕事以外の面でも安心して楽しく働けるよう、福利厚生を充実させています。



●保育室 ミルキーランド

おぐら病院に併設されている「ヴィラかのや」内にある、職員のための24時間対応の託児所です。お年寄りとのふれあいもあり、和気あいあいとした家庭的な雰囲気自慢です。

●食堂

南西側はガラス張り、明るい開放感のある空間になっています。広々とした職員食堂は、多くの職員が利用できるくつろぎと交流の場を目指しています。

●テラス

6階食堂からテラスに出ると、椅子やテーブルが配置されており、リラックスできるスペースになっています。また、テラスからは鹿屋市内や高隈連山などを一望できます。

●更衣室

仕事のあとのプライベートのスイッチをスムーズに切り替えられるゆとりのスペース。パウダールームには、おしゃれなモザイクタイルをあしらいました。

●職員寮

徒歩圏内の好立地に職員寮を完備。安心して働ける環境が整っています。

サークル活動

バレーボール部、ソフトボール部、フットサル部、テニス部、響心太鼓同好会と、職員のサークル活動も盛んです。



地域活動

地域に密着した草の根的な活動を行うことにより、「恒心」の精神を実践し、保健・医療・福祉を提供していけるよう努めています。また各種イベントは、職種の枠を越えた当院のチームワークの源ともなっています。



●ふれあい看護体験

小学4年生から高校3年生までを対象に、看護現場の見学やシーツ交換などの実習、病院スタッフとの交流を行う、体験型イベントです。

●健康フェスティバル

地域の皆様とのふれあいを重視した、公開型イベントです。病院スタッフによる無料の健康診断、健康相談、体操指導などと併せて、舞台では太鼓や歌謡ショー、抽選会なども行います。

●人材育成

救急救命士の気管内挿管実習をはじめとして、地域医療を支える人材育成に貢献しています。

関連施設

通所・訪問リハビリテーション、居宅介護支援で、退院後のサポートも万全。
グループホームやサポートセンターもご利用いただけます。



介護老人保健施設 ヴィラかのや

医師による健康管理のもと、食事・入浴・排泄などの日常生活サービスを行い、レクリエーション、リハビリテーションなどで健康維持を支援します。

鹿児島県鹿屋市寿8丁目21-2
TEL 0994-44-0021 / FAX 0994-44-1226



居宅介護支援事業所 ヴィラかのや

介護を必要とされる高齢者の方や、介護でお困りのご家族に対し、適切な在宅福祉サービスが受けられるよう介護支援相談員がアドバイスします。

鹿児島県鹿屋市寿8丁目21-2
TEL 0994-44-2070 / FAX 0994-44-0301



ヘルプステーション ヴィラかのや

介護保険による要介護認定を受けた方々を対象に、専門知識と技術を備えた訪問介護員がご自宅へうかがい、入浴・排泄・食事などをサポートします。

鹿児島県鹿屋市寿8丁目21-2
TEL 0994-44-9020 / FAX 0994-44-9020



さかもと歯科クリニック

口は身体の入り口であるとともに、健康の要と考え、虫歯や歯周病にならないための予防処置から、摂食・嚥下障害へのアプローチも行います。

鹿児島県鹿屋市寿8丁目21-2
TEL 0994-44-2003 / FAX 0994-44-2236



おぐら居宅介護支援事業所

経験豊富な介護支援専門員(ケアマネージャー)が、介護保険の申請や介護保険サービスを利用する際に必要なケアプランの提案などを行います。

鹿児島県鹿屋市笠之原町27-22
TEL 0994-31-1631 / FAX 0994-43-0560



訪問看護ステーション ことぶき

医療機関より看護の要請があった際、当ステーションのスタッフが訪問し、在宅での療養生活に必要な看護や介護に関する指導・援助を行います。

鹿児島県鹿屋市寿8丁目21-2
TEL 0994-44-2772 / FAX 0994-44-2703



小規模多機能ホーム サポートセンターおぐら24

通所サービスを基本とし、利用者の様態や希望に応じて、訪問や宿泊を組み合わせる24時間サポートすることにより、在宅介護の継続を支援します。

鹿児島県鹿屋市笠之原町29-39
TEL 0994-41-7313 / FAX 0994-41-7313



グループホーム イーストサイドおぐら

家庭的な環境の中で、認知症のある高齢者が共同生活を行う入所施設です。入浴・排泄・食事などの介護や日常生活のサポート、機能訓練などを行います。

鹿児島県鹿屋市笠之原町29-39-1
TEL 0994-41-7420 / FAX 0994-41-7420

鹿屋市地域包括支援センター 寿8丁目サブセンターヴィラかのや

〒893-0023 鹿児島県鹿屋市寿8丁目21-2
TEL 0994-40-3751 / FAX 0994-40-3761

入院生活環境

より日常生活に近い環境の中で、快適な入院生活を提供いたします。



●病室

当院では各部屋にはプライバシー、セキュリティが確保されています。木質系の素材で統一された室内は落ち着いた雰囲気、穏やかに療養することができます。

●浴室

特殊浴室と一般浴室の2タイプの浴室があります。清潔な身体を保つとともに気分をリフレッシュさせます。

●入院食

「食の安全性」「適時・適温」「食事サービスの充実」をモットーに、ニュークックチルシステムを取り入れた新しい方法での食事提供をしています。

ニュークックチルシステムとは、加熱調理した食材(料理)を短時間で急速冷却。冷たい状態で盛り付けをし提供時間に合わせて再加熱調理するシステムで、「安全でおいしい料理の提供」を可能にします。食品の温度管理を徹底し安全性の向上が図れ、計画調理によるチルド保存により、災害時の食事の確保にも繋がります。また、安全な食事を提供するために「集中温度管理システム」を導入し、調理の温度と時間を計測、記録しています。

●テラス

3階のテラスは患者さんのところをリフレッシュするために開放しています。鹿屋市の雄大な自然を眺めながら団らんのひとときをお楽しみください。

非常口案内

あらかじめ、非常口をご確認ください。

非常時の際は、エレベーターを使わずに、階段で避難してください。スタッフの誘導または誘導灯に従っての行動をお願いします。



主な施設

- | | | |
|---|--|--|
| <p>1F 外来診察室 売店 ATMコーナー 喫茶コーナー リハビリテーションルーム デイケアルーム</p> | <p>リカバリールーム 食堂・談話室</p> | <p>食堂・談話室 リハビリテーションルーム</p> |
| <p>2F 手術部門 病棟 [201~217] スタッフステーション</p> | <p>3F 病棟 [301~337] スタッフステーション リカバリールーム 食堂・談話室</p> | <p>5F 病棟 [501~515] スタッフステーション リカバリールーム 食堂・談話室</p> |
| <p>4F 病棟 [401~418] スタッフステーション リカバリールーム</p> | | |

ひと、未来、いのちをつなぐ。



社会医療法人 恒心会

恒心会 おぐら病院

〒893-0023 鹿児島県鹿屋市笠之原町27番22号
TEL 0994-44-7171 / FAX 0994-40-2300

介護老人保健施設 ヴィラかのや

居宅介護支援事業所 ヴィラかのや

ヘルパーステーション ヴィラかのや

さかもと歯科クリニック

おぐら居宅介護支援事業所

訪問看護ステーション ことぶき

小規模多機能ホーム

サポートセンターおぐら24

グループホーム イーストサイドおぐら

鹿屋市地域包括支援センター

寿8丁目サブセンターヴィラかのや

www.koshinkai.or.jp